

平成 29 年度 第 2 回観光立国推進協議会観光教育専門部会

目 的 観光教育推進事業の一環として、その推進に向けての諮問、助言を行うものとする。観光立国日本の将来を担う子どもに対し、自分の住む地域、国を愛する心を醸成し、人々の交流が地域経済の活性化を促すことに対する理解を小学校の授業を通じて深める必要があると思われる。その活動の結果として、将来、観光産業へ進む人材が育つものと考えられる。また、意見交換においては、その解決方法を議論する場を提供することを目的とする。

日 時 平成 29 年 11 月 16 日（木） 16：10～17：10

場 所 日本観光振興協会 A 会議室
（東京都港区虎ノ門 3-1-1 虎ノ門 3 丁目ビルディング 6 階）

主 催 公益社団法人日本観光振興協会

参加状況 9 名（委員）+2 名（事務局）（オブザーバー 3 名、欠席 5 名）

I. 開会

II. 議題

1. 企業による観光教育の取り組みについて

日本航空株式会社 旅客販売統括本部 部長 澤山 英治

2. 観光教育の現状と課題について

玉川大学 教育学部 教授 寺本 潔

3. 今後の観光教育専門部会の事業展開について（審議事項）

- ・観光教育教材の作成
- ・国土交通省の出前授業の検討
- ・出前授業及びシンポジウムの実施

III. 閉会の挨拶

公益社団法人日本観光振興協会 常務理事 天野 啓史

概略報告

今回、2 回目の開催となった。日本航空 澤山委員から企業による観光教育ということで、「夢ある未来」をテーマに社会貢献活動の一環として次世代育成に取り組むべく、子どもたちにもっと「日本・世界」を感じてもらえるプログラムを紹介頂いた。具体的には JAL 工場見学において、運行乗務員、客室乗務員等の社員が語るお仕事講座を通じて、身近に感じてもらえるメリットが考えられる。また、玉川大学の寺本教授からは長年の初等観光教育の経験に基づいた観光の学びについての提言がなされた。最後に今後の観光教育専門部会の事業展開について、3つの項目「観光教育教材の作成」「国土交通省の出前授業の検討」「出前授業及びシンポジウムの実施」について審議を行い、基本的には進める方向で承認が得られた。

記録写真



会場の様子 1



会場の様子 2



寺本委員長



澤山委員